



重ねてつながるCUBE

住居・インテリア学科 23UH057 松谷拓真

コンセプト

40cm角の直方体を積み重ねることで
CUBE全体を構成



ずらして重ねることで
座る、読書、しゃべるなど
多様な人の居場所ができる。



設計趣旨

現アトリウム空間の現状

⇒ スマホで時間つぶし

大学にいるのにもったいない！

アトリウムから自習室が見える



アトリウムと自習室をCUBEで
つなげることで時間つぶしが
学びの時間に

設計趣旨

CUBE

自習室

“つながり”をテーマに！

CUBEの中

CUBEとアトリウム

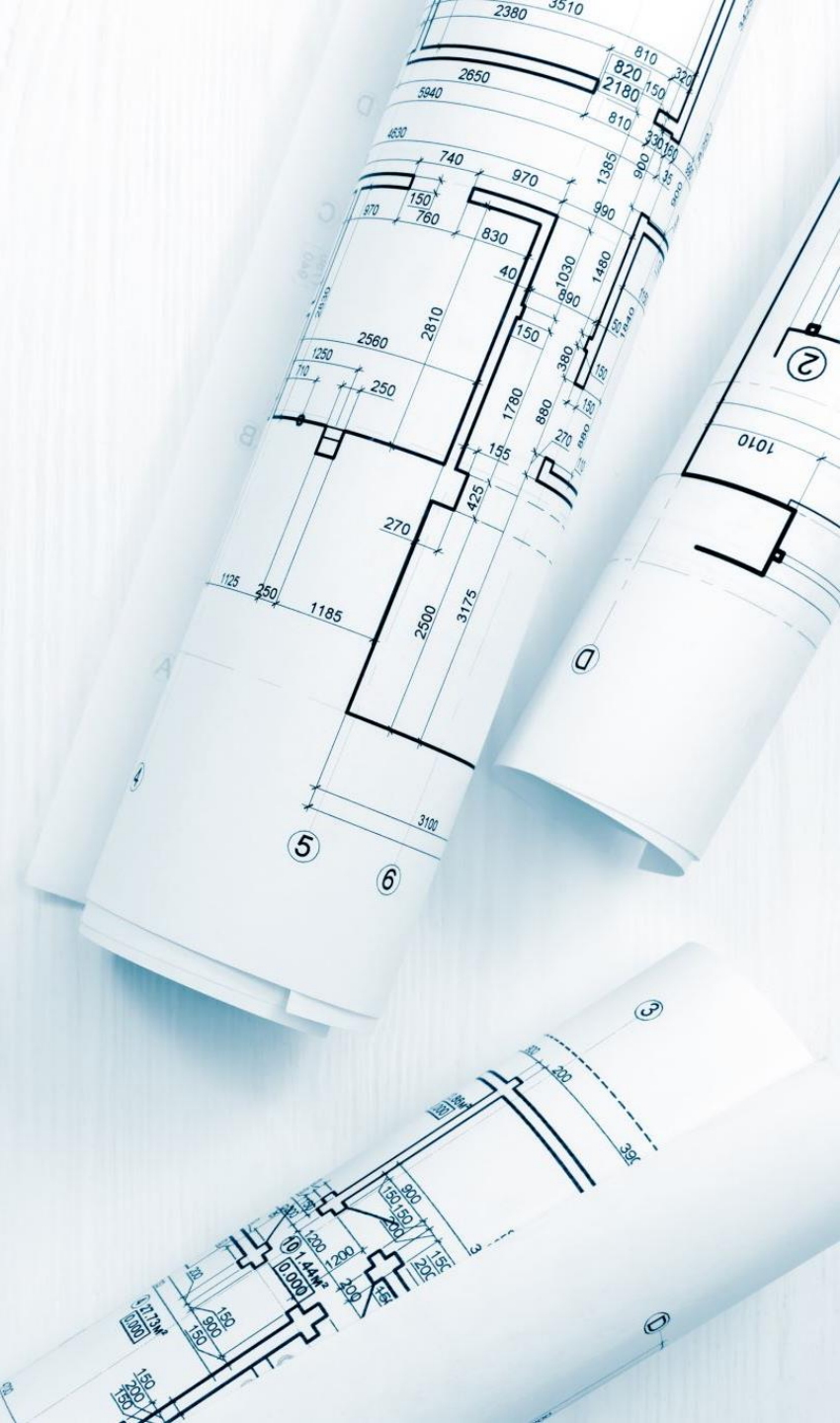
CUBEと一号館

それぞれで**つながり**を
感じる空間へ

全体計画

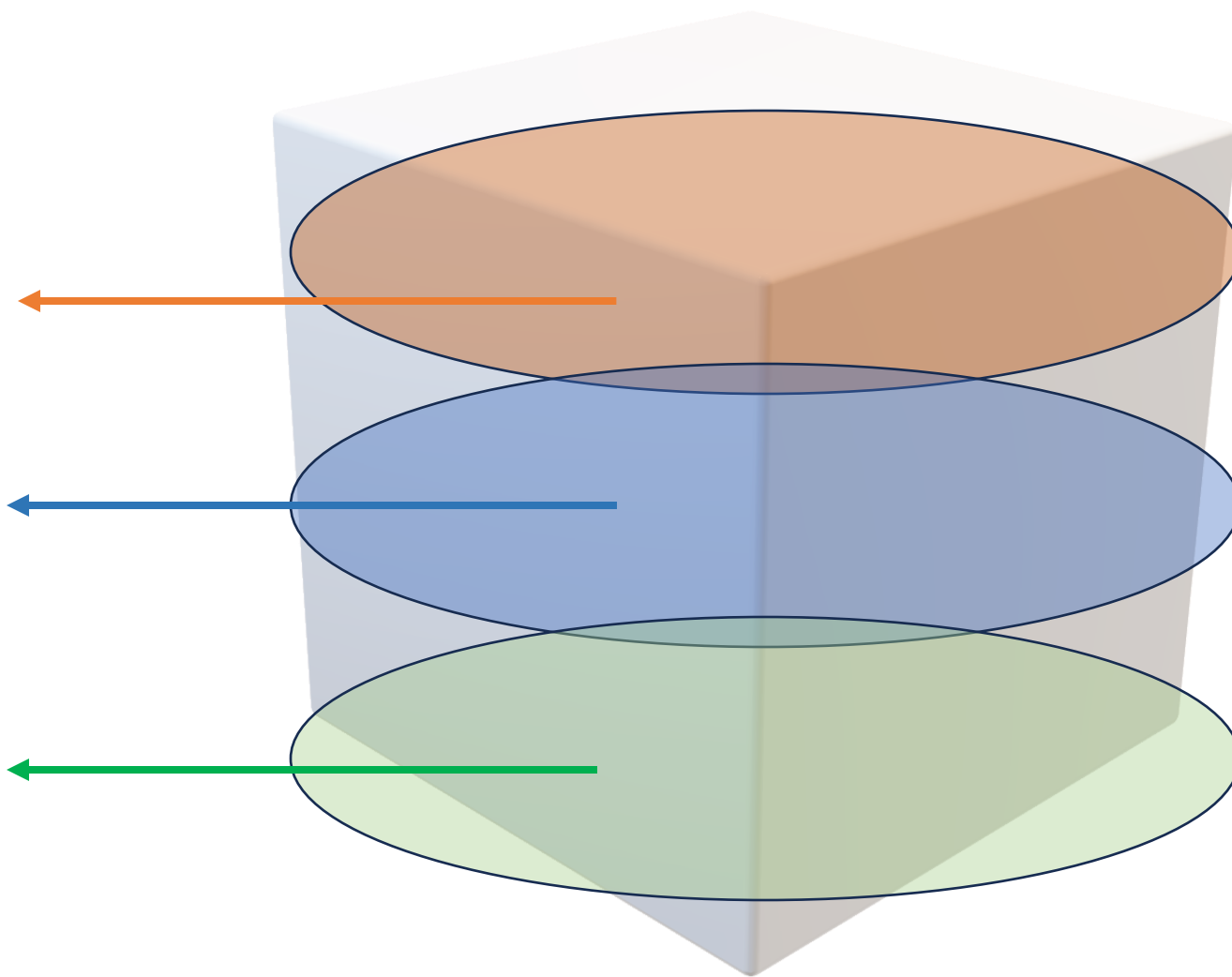
・空間の概要

・動線計画

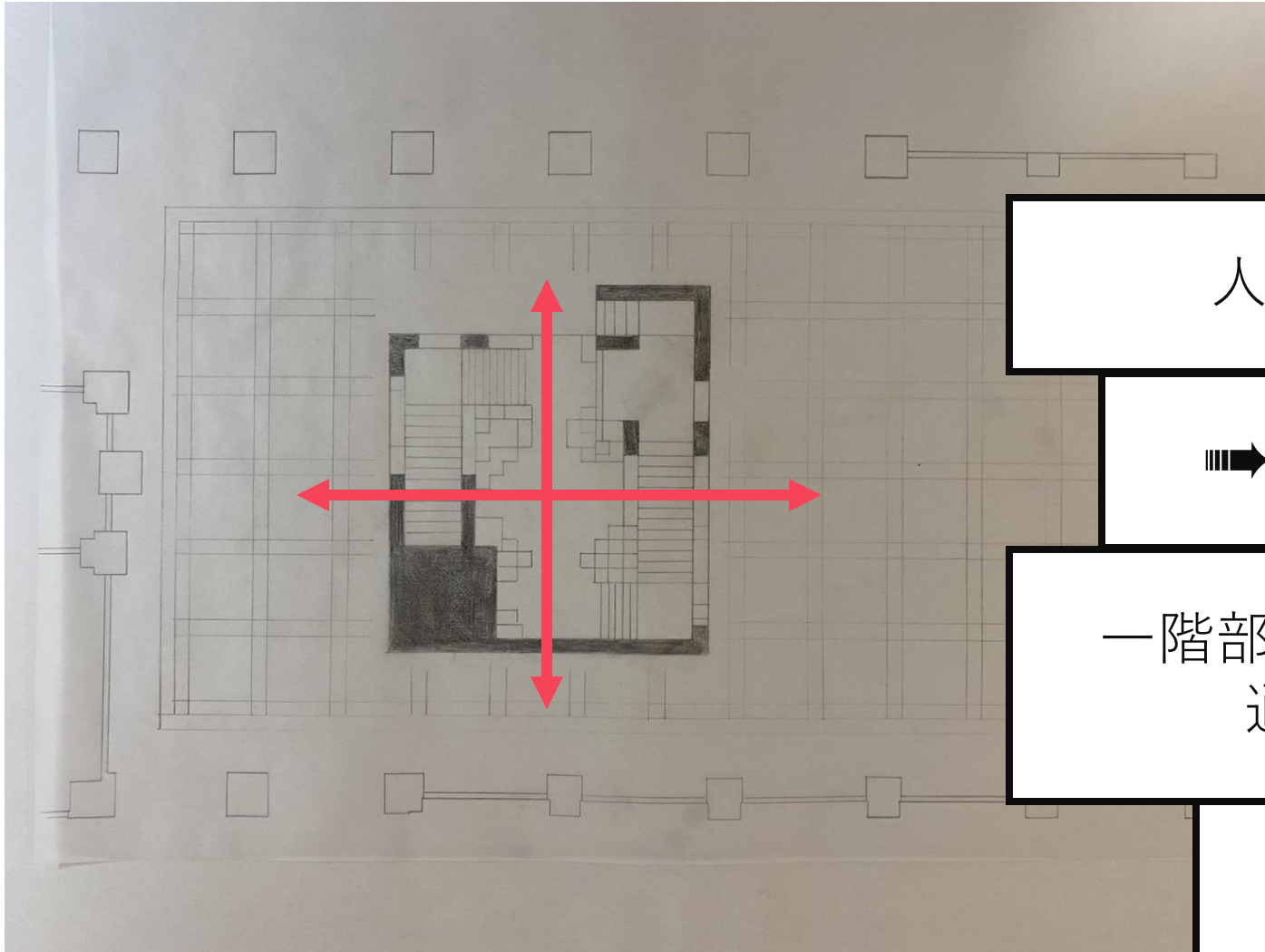


空間の概要

- ・ **自習室とつながる空間**
勉強、自習の休憩など
- ・ **螺旋状の階段とその踊り場で
空間と行動をつなげる**
- ・ **アトリウムとつながる空間**
数人で話す、パブリック空間



動線計画



人通りの多い空間



一階部分は四方すべてから
通り抜けが可能

CUBEが生む 4つの“つながり”

・行動がつながる

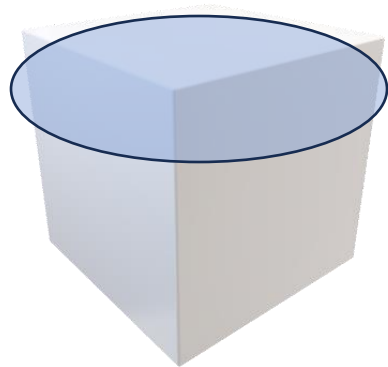
・空間がつながる

・視線でつながる

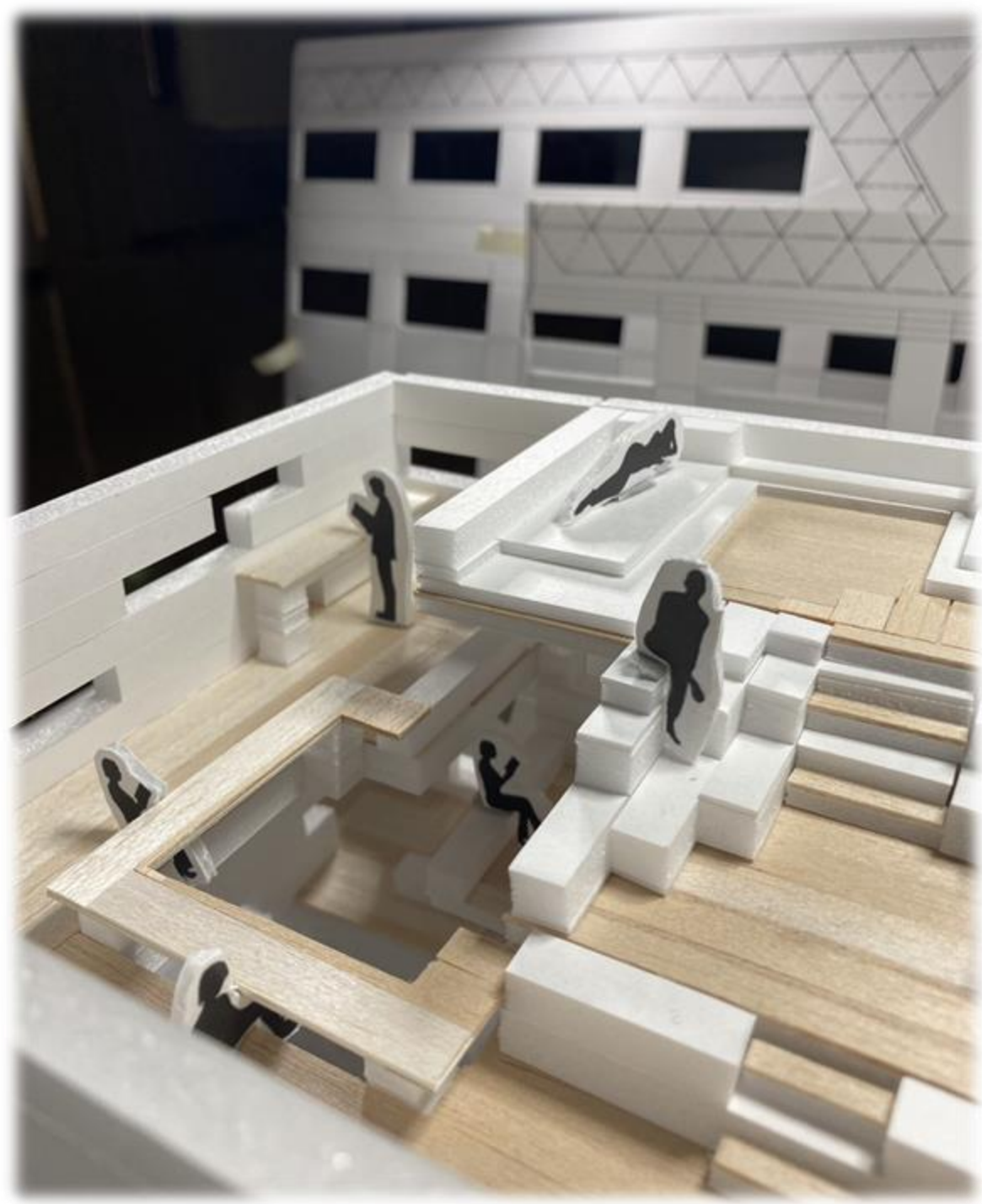
・机でつながる



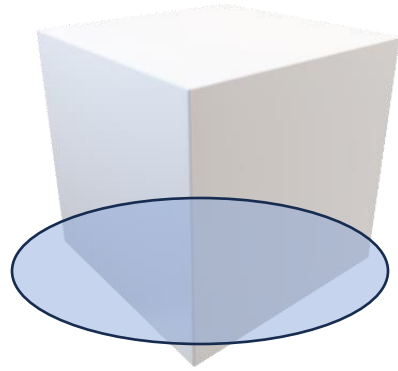
行動がつながる



机を配置した空間と自習室をつなげることで
自習の息抜き、数人での学習など、行動が**つながる**。



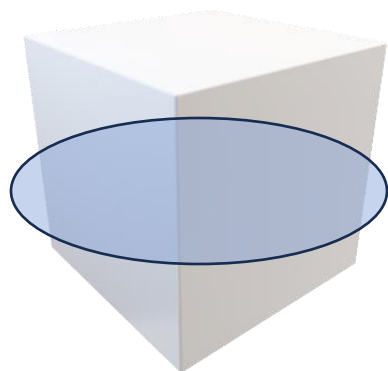
行動がつながる



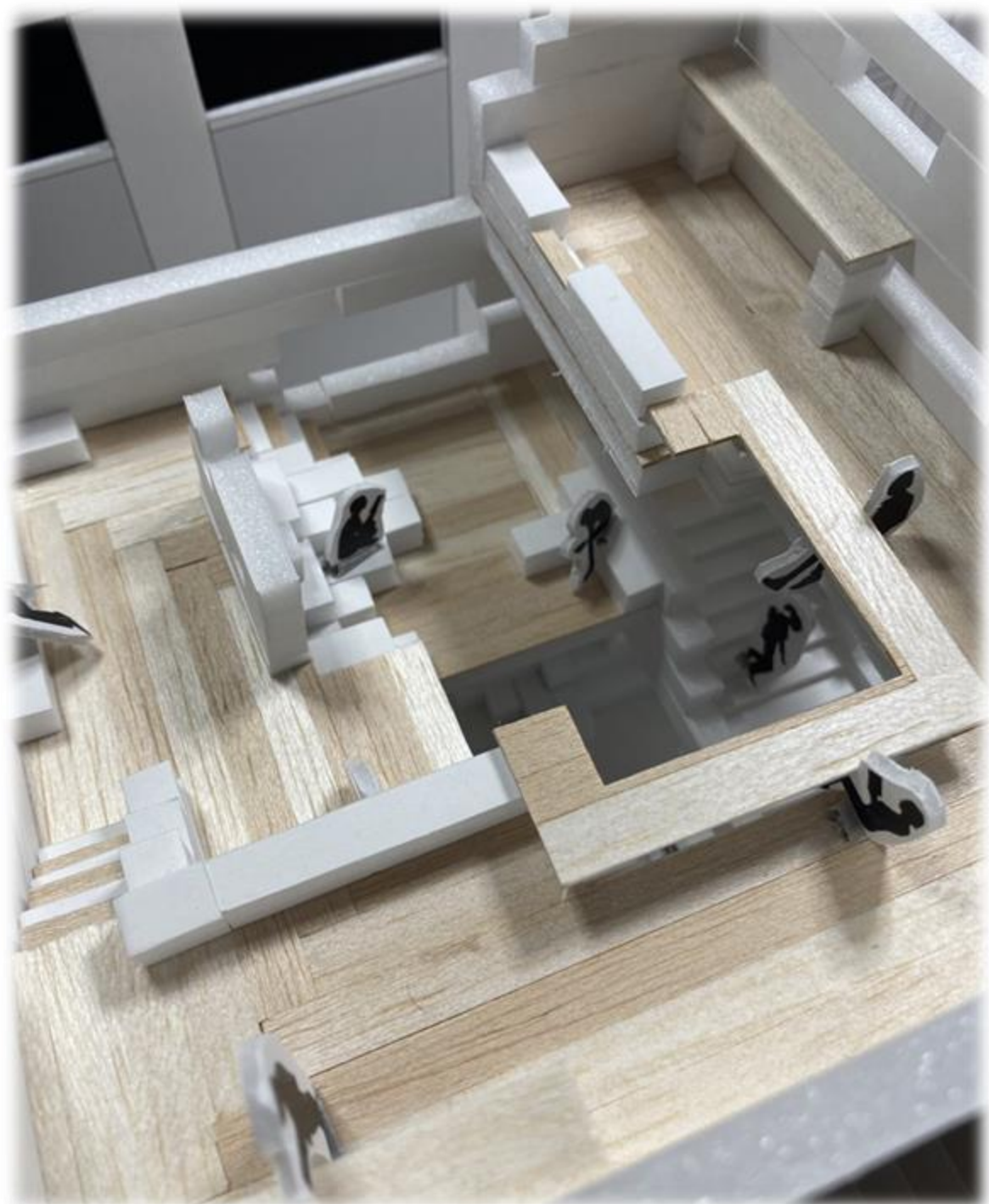
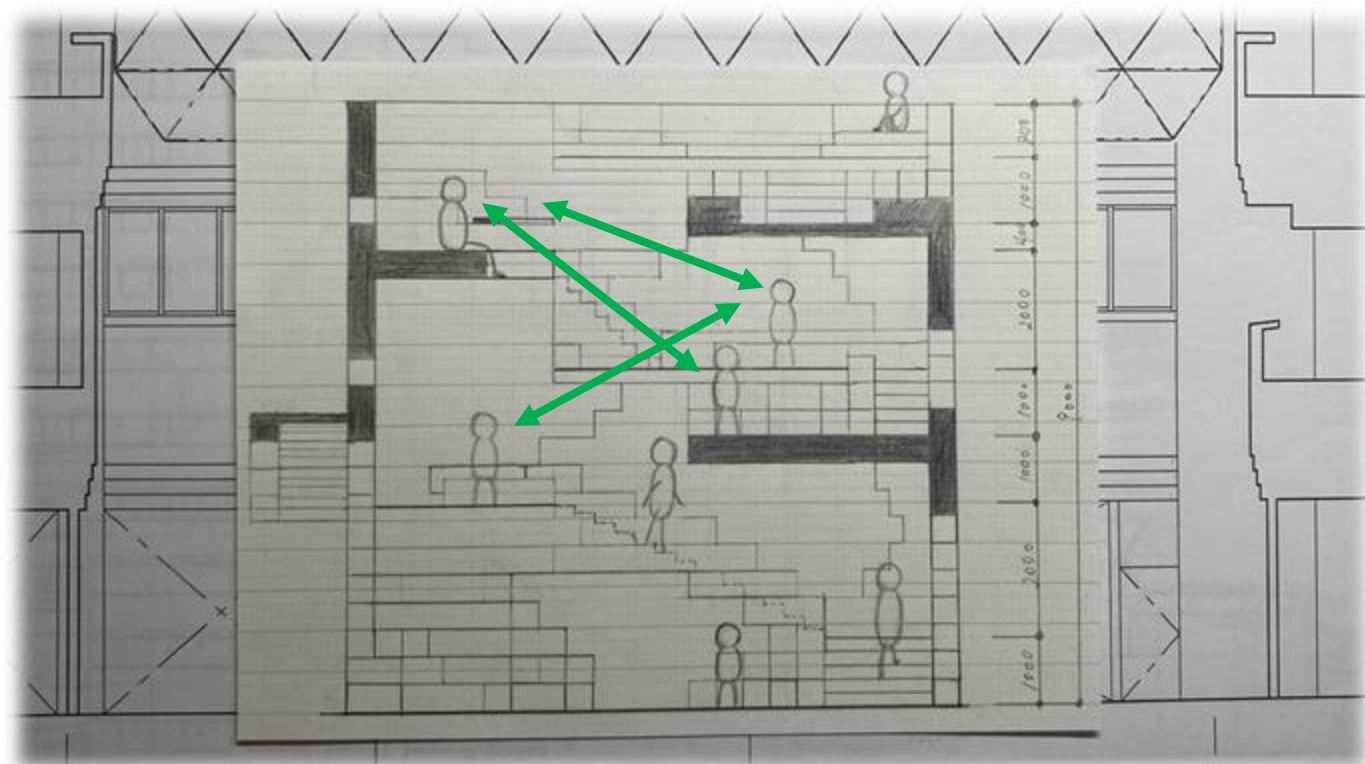
CUBEの下層に本を設置。アトリウムから本を手にとった人がCUBEに入り、学びの時間へと**つながる**。



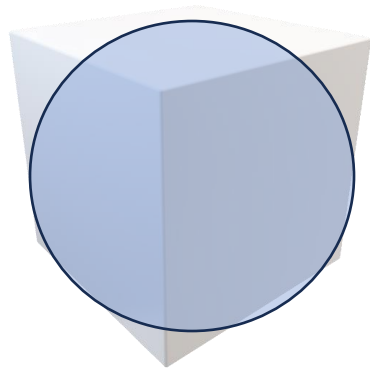
空間がつながる



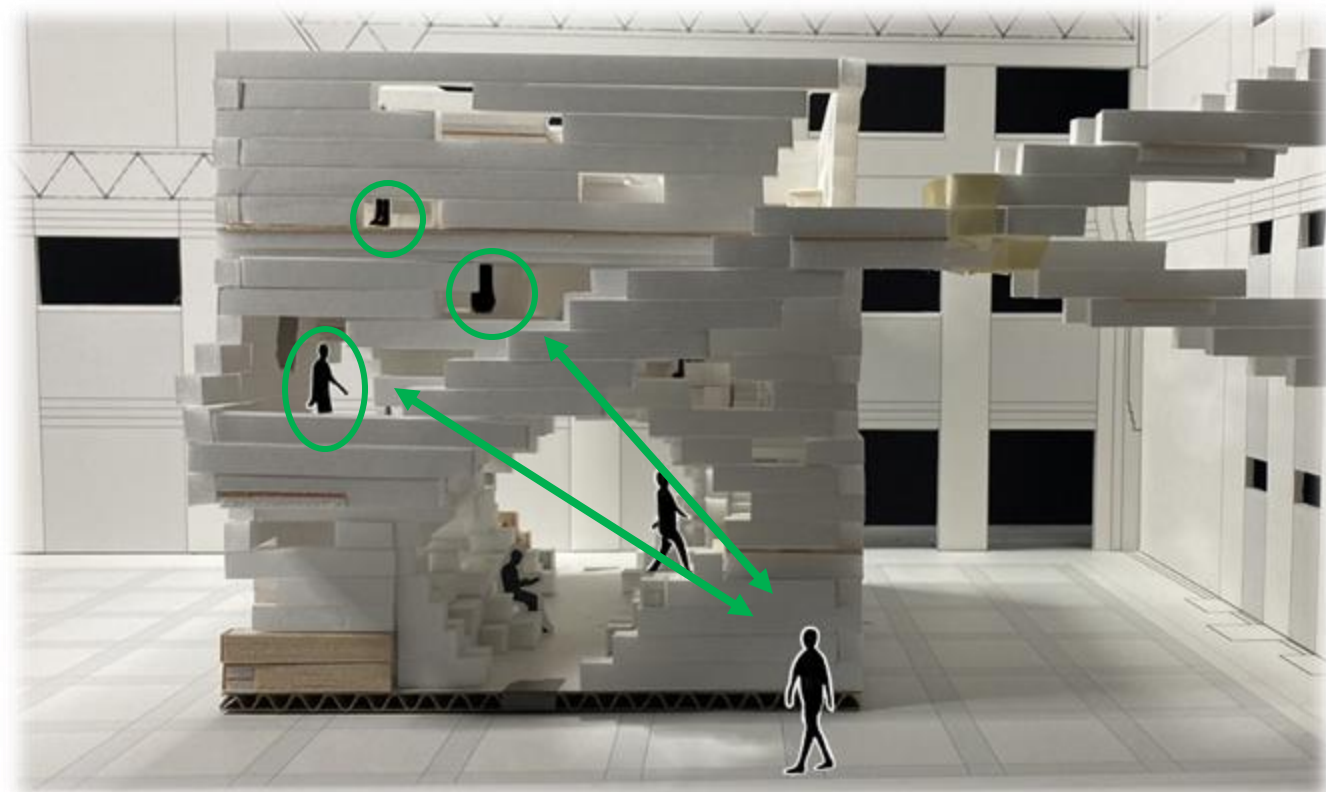
小さなレベル差と中央の吹き抜けが適度な距離を保ちつつ、**つながり**を感じる空間体験を生む。



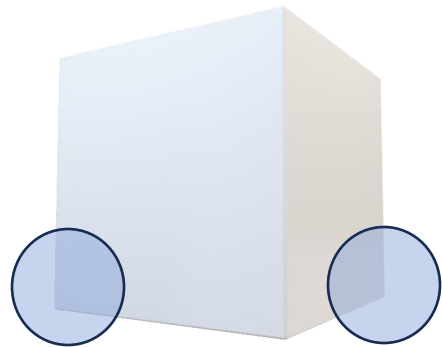
視線でつながる



直方体をずらして重ねることのできた開口から、CUBE内の人の動きが見えることで、CUBEとアトリウムが**つながる**



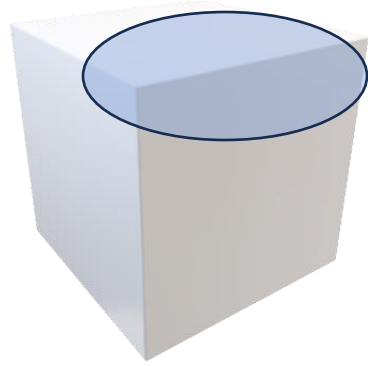
視線でつながる



階段下の小さな空間にある開口から、
見る見られるの関係でつながる。



机でつながる



一台の机を共有して使用することで
つながりが生まれる



ご清聴ありがとうございました。

重ねてつながるCUBE

コンセプト

400㎡。既存の建物と新しい建物を繋ぎ、
新しい空間を創出する。既存の建物と新しい建物の
繋ぎは既存の建物と新しい建物の間に設置する。

設計趣意

既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。

設計図面

CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。
CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。
CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。
CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。



全体計画

1. 全体計画

CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。
CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。
CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。
CUBEは既存の建物と新しい建物の間に設置する。

2. 視線をつなげる

既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。

3. 空間をつなげる

既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。

4. 光をつなげる

既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。
既存の建物と新しい建物の間に設置する。

